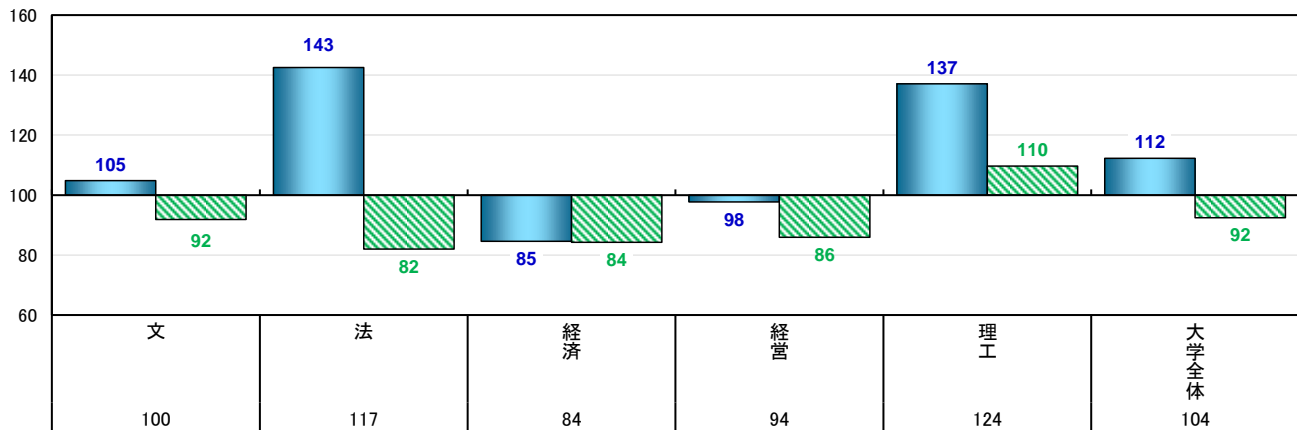


成蹊大：大学全体では3年ぶりに増加

一般：+1,386人 共テ：-552人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



主な入試変更点

学科改組：理工(物質生命理工、情報科学、システムデザイン)
 →理工(理工/データ数理、コンピュータ科学、機械システム、電気電子、応用化)
 入試科目：法(政治、法律)〈共テ併用・P方式〉…〈共テ〉国+外+(歴 or 数①)→2、〈個〉外
 →〈共テ〉国+外+(数② or 理・理基2)+(歴 or 数①)→2、〈個〉外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、834人(104)のやや増加で3年ぶりに増加。学部別では、学科改組をした理工(124)と法(117)は大幅増加。一方で、経済(84)は大幅減少。方式別では、一般方式は1,386人(112)の増加で、3年ぶりに増加。一方で、共通テスト利用方式は、552人(92)の減少で、3年連続減少と対照的。

〈一般方式〉

- 文(105)は、2年連続減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(現代社会)(88)以外の3学科が増加。特に、(国際文化)(115)、(日本文)(115)は大幅増加で、いずれも3年連続減少の反動。
- 法(143)は、2年連続大幅減少の反動で40%以上の大幅増加。学科別では、2学科とも大幅増加。特に(法律)(159)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。
- 経済(85)は、3年連続大幅減少。学部改組後3年目だが、2学科とも減少。特に(現代経済)(83)が大幅減少で、2年連続大幅減少。
- 経営(98)は、微減で学部改組後3年目だが2年連続減少。方式別では、2教科に英語外部検定試験と活動報告書を評価する〈G方式〉(112)は、コロナ禍の中での英語外部試験を受験する環境が回復した結果、前年度50%以上の大幅減少の反動で増加。一方で、3教科型の〈A方式〉(94)は2年連続やや減少。
- 理工(137)は、2年連続減少の反動で大幅増加。学科改組により学部全体の募集人員が7%増加したが、それを上回る志願者増加で志願倍率は11.6倍→14.9倍にアップ。

〈共通テスト利用方式〉

- 文(92)は、減少で前年度の反動による増減が継続。学科別では、(日本文)(104)のやや増加を除き、他の3学科は減少。特に、(国際文化)(75)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 法(82)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2017年度以降、前年度の反動による増減が継続。学科別では、2学科とも減少。(政治)(66)は30%以上の大幅減少、(法律)(94)はやや減少。いずれも前年度の反動による増減が継続。
- 経済(84)は、大幅減少で3年連続減少。学部改組3年目だが、(現代経済)(111)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(経済数理)(57)は前年度激増の反動で大幅減少と対照的。
- 経営(86)は、減少で学部改組3年目だが2年連続減少。方式別では、共通テスト受験前に出願締め切りとなる〈共テ・C方式〉(84)は2年連続大幅減少。
- 理工(110)は、学科改組だが、前年度大幅減少の反動で増加。